

足利風 -ashikaga-fu

2012
2月号
Vol. 18



絵: 川島直人



足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

☆ ご案内 ☆

- *特集！
- *TOPICS
- *私のボランティアことはじめ
- *サークル紹介
- *インフォメーション
- *センターからのご案内

「母 風(モフン)」

韓国の詩人・金 芝河(キム・ジハ)の愛した言葉。女性的なイマジネーションを通して、解放の回路を探ること。

私たち日本人には、見えているようでいて、決して素顔を見ることのできない隣の国の人々。心からうちとけて、手に手をとって歩めるようになるのには、私たち日本人が、彼らの“恨(ハン)”に思いを致し、朝鮮半島の分断克服だけを語るのではなく、日本と韓半島分断の歴史を克服しなければ何も始まらない。

このことを身に沁みて知らされたのは、以前、お話を伺った梨花女子大教授のある老紳士からだ。アメリカ留学をされた温厚なジェントルマン。その老紳士の口をついて出てくる事実・言葉に衝撃をうけた。彼の父親は朝鮮戦争のさ中に虐殺された。しかし、そのことよりも私を肅然とさせたのは、淡々と語る言葉だった。～韓国人として日本語を強制的に習わされて、その結果、この老人がまだまだ日本語を忘れないでいるという事実を、日本の友達に今お見せしているのは、国と言葉と名前まで失った一人の人間の悲しみ、歴史の悲劇をみなさんと一緒に考えたいと思ったからです。日本語で話すのは難しいだけではなく、悲しいのです。無理やり朝鮮語を取り上げられ、日本語を強要されたのです。私が日本語を使うのは、私たち朝鮮人と日本人の悲しい歴史の結果です。その歴史を許すことはできません。しかし、その歴史を忘れることはできません。それは、歴史に背信することであり、歴史から何も学ばないことでもあります。

～「許すことはできても、忘れることはできない」という言葉は、マラッカ海峡の夕陽を見ている時にも、異国のボランティアたちからも聴いた。母なる大地からの風のささやき・・と、だけは思えなかった。

(M生)



「とちぎ協働フォーラム in 足利2011」報告

“つながりを紡ぎ 地域を未来に拓く”をテーマに、上記フォーラムが、9月10日(土)足利市で開催されました。主催は、とちぎボランティアNPOセンターぽ・ぽ・ら&足利市民活動センター。共催は、佐野市市民活動センターここねっと&とちぎ市民活動推進センターくらら。県南地域の市民活動のエンパワーメントと協働の啓発を目的に、数回の広域的な実行委員会を経ての取り組みとなりました。基調講演は早瀬 昇(社福・大阪ボランティア協会常務理事)さん。独特のユーモアと内容の素晴らしさで、満場の参加者を魅了しました。4つの分科会も、それぞれに“旬”の講師たちで好評でした。足利市民活動センターへ会場を移しての交流会も、かき氷あり、美味しい野菜料理ありのホスピタリティーあふれる、心のこもった名残つきなものとなりました。

180名ほどの参加者も満ち足りたフォーラムだったと口々に話していました。

このフォーラムを縁の下で支えてくれた人たちに感謝。また逢いましょう！

鈴木光尚 記

* ワインの楽しみを伝えていくこと *

～増子春香～



私は、ワインメーカーを目指し、日々、海外の最新ワイン文献の翻訳などを行っています。

幼い頃、海外のホームドラマなどで見られる、家族、恋人、もしくは仲間と食卓を囲んで、果てしないおしゃべりをするシーンが大好きでした。そこには必ず、おいしそうな食事とワインがありました。今思うと、その世界を生み出す一員になりたいと思ったのが、ワインメーカーを目指すきっかけになったのかもしれませんが。

ワインメーカーって何をするの？という疑問を簡単にご説明させていただくと、大切に育てられたブドウを潰し、発酵、熟成させ、できたワインをビン詰めし、製品化することです。

こういってしまうと、なんとも簡単そうですが、ワインの醸造法にマニュアルはありません。ブドウは、その年の気候、その土地の土壌に非常に影響を受けやすく、同じ畑から収穫されたブドウであっても毎年、同じ品質のブドウができるわけではありません。このため、ワインメーカーは、その年に収穫されたブドウから、ターゲットを特定し、そのブドウが持つポテンシャルを最大限に表現するために、無数にあるワイン醸造法から取捨選択し、今年のブドウの品質からできる最高のワインを醸造していきます。

ワインは、面倒なことが多く、複雑なアルコール飲料というイメージを持っている方もいらっしゃると思います。でも、そんなことはありません。ただ、時を楽しむ。それだけです。ワインの楽しみ方、造ることのおもしろさ、ワインだからこそできる繋がりを伝えていきたいと思っています。

* 足利わたらせ友の会 *

この会発足は、平成13年、全国で失語症の集いを開催して活躍されていた言語聴覚士遠藤先生からの思いがけないお言葉がきっかけでした。先生の集いに参加した折に、足利に会を創るのなら、ボランティアで東京からご指導に来てくださる、というありがたいお話を先生からいただきました。早速、行政の支援を受け、平成13年6月に第1回を開催することが出来ました。その後、先生から6回のご指導を受け、このご指導を無にしないようにと、行政・言語聴覚士・ボランティアの皆さんのご協力を得て、今日まで会の存続に励んできました。

現在は自主グループとして、早川ST、ボランティア、皆さんのご協力で活動しています。会の目的は、失語症の方をはじめ、言葉の不自由な方々がその家族とリハビリをし、パートナーと一緒に言語聴覚士の出す課題と取り組みます。毎月会員の司会・進行により、自己紹介・口の体操、発声練習・パートナーとの会話・ゲーム・歌など楽しい時を過ごします。言葉に詰まったときは、一言きっかけを助言し、ゆっくり待ちます。その後お茶会になり、また話が弾みます。

同じ病の仲間同士、安心して、焦らずに話すことにより、とてもリラックスできます。会員は足利に限らず、県外からも参加しております。興味のある方は見学も自由です。

活動は毎月第4土曜日 1時30分～3時30分頃まで

市川 タツ子



① インフォメーション ①

☆みんな de ワイワイ協働のまちづくり

足利大好き人間 大集合！！

※ 詳しい内容はチラシ参照

日 時：平成 24年 2月 4日(土) 午後 1時 30分 ～ 3時 40分

会 場：足利市生涯学習センター 101号室

内 容：講 話 13:35～14:30

演題:「桐生再生！！～観光・環境と人材育成～」

お話:清水宏康さん (NPO 法人桐生再生理事長)

交流会 14:35～15:40

「みんなで楽しく観光ルートを考えよう！」

対 象：主に市内で活動しているボランティア団体や NPO 団体で活動している方
市民活動等に関心のある方

参加費：無料

定 員：50名

問合・申込：市民活動支援課 (TEL:20-2154)

市民活動センター (TEL:44-7311)

* センターからのご案内 *

☆平成24年度のロッカーとレターボックスの利用希望者募集のご案内

* 希望される団体等は、平成24年3月16日までに活動センターまで、お申し込み
ください。なお、申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

☆みんなの広場 ～ 2月・3月のご案内 ～

*『北の郷からアートの風』展～ルンビニー園の絵師たち～(2月6日～9日)

*全国各地・郷土のひな人形展(2月13日～16日)

*鏡文字アート展(2月20日～3月1日)

*『震災一周年記念』展(3月5日～15日)

*絵てがみ展(3月19日～29日)

☆相談室&講座のご案内

*相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時 ※詳しくは、別紙参照

*講 座 = 毎月1回 午後7時～9時 ※詳しくは、別紙参照

編集後記

昨年の大震災から1年が過ぎようとしています。私たちの日常はいつもどおり！
しかし、一方では寒い場所で必死に生活している人がいます。そして、一日でも早
く復興できることを願っています(^_^♪ (アイリ)

“ 講座・相談室のご案内 ”

【相談室】

日付	相談テーマ	相談員
2/8(水)	子どもと地域をつなぐ イベント企画	新井 街栄さん (文化体験プロジェクト夢のつばさ代表)
2/22(水)	淡水魚の上手な釣り方	村井 正治さん (釣り人)
3/7(水)	ブログの作り方教えます	白田 明さん (ブランドゥ・アシスト代表)
3/21(水)	森林ボランティア入門	新嶋 高行さん (2000年記念の森の会運営副委員長)

時間 午後2時～午後4時

会場 足利市民活動センター（旧保健所） 2階 ワーキングルーム

【講座】

日時	講座名
2/16(木)	多様な視点で協働のまちづくりをする
	講師：益本仁さん（あしかがさぼーと会代表） 講師：外丸実さん（庭園文化研究会代表）
3/15(木)	銘仙から被災地支援まで～いのちのタテ糸とヨコ糸を織る
	講師：木村克子さん（AKG23代表） 講師：鈴木光尚さん（NPO法人足利の風理事長）

時間 午後7時～午後9時

会場 足利市民活動センター（旧保健所） 2階 会議室

お問い合わせ・連絡先

〒326-0051 栃木県足利市大橋町1-2006-3 (☎0284-44-7311)

“ 企 画 展 の ご 案 内 ”

期間	企画展名	出展者
2/6(月) ～2/9(木)	『北の郷からアートの風』展 ～ルンビニー園の絵師たち～	ルンビニー園の 園生たち
2/13(月) ～2/16(木)	全国各地・郷土のひな人形展	牛山 喜人さん
2/20(月) ～3/1(木)	鏡文字アート展	吉沢 美喜さん
3/5(月) ～3/15(木)	『震災一周年記念』展	N P O 法人 足利の風
3/19(月) ～3/29(木)	絵てがみ展	阿久戸 昌之さん

展示会場 足利市民活動センター（旧保健所） 3階 みんなの広場
（足利市大橋町1丁目2006-3 ☎0284-44-7311）

展示時間 午前10時～午後7時

休館日 土・日・祝

NPO・ボランティア講座

みんなdeワイワイ協働のまちづくり

1 日 時：平成24年2月4日（土）
午後1時30分～3時40分

2 会 場：足利市生涯学習センター101号

3 内 容：講 話 13：35～14：30

演題：「**桐生再生！！～観光・環境と人材育成～**」

お話：清水宏康さん（NPO 法人桐生再生理事長）

交流会 14：35～15：40

「**みんなで楽しく観光ルートを考えよう！！**」

1 相田みつをコース

2 足利銘仙コース

3 足利ナイトクルーズコース

4 尊氏くんコース

5 旦那衆のそぞろ歩きコース

交流会は、皆さんでお茶しながらワイワイ・ガヤガヤ話しをしましょう！！

4 対 象：主に市内で活動しているボランティア団体やNPO 団体で活動している方、市民活動等に関心のある方

5 参加費：無料

6 定 員：50名

7 主 催：足利市

足利市民活動センター

（指定管理者：NPO 法人足利の風）

8 問合せ：申込み

市民活動支援課

TEL：20-2154 FAX：21-7266

Eメール：katsudou@city.ashikaga.lg.jp

市民活動センター

TEL：44-7311 FAX：44-7312

Eメール：info@shimin-act.jp



清水 宏康さん（NPO 法人桐生再生理事長）

昭和 40 年に県立桐生高等学校を卒業した団塊世代 10 名により、今までの経験や知識を生かし、生まれ育った地桐生の活性化を図りたいという気持ちから、平成 20 年に NPO 法人桐生再生を立ち上げました。

NPO 法人桐生再生は、桐生市の近代化遺産を活用し、桐生市の観光拠点作りや、拠点をリレー的に観光案内するシステム作りをし、桐生市の企画する各観光イベントに協力し、また地元企業への支援を行うなど、桐生市の活性化に努めてきました。



き り と り

みんなdeワイワイ協働のまちづくり 参加申込書

申込期限 24年1月23日（月）まで

団体名	氏名	住 所 連絡先(電話)		交流会 5コースから1つ選び コース番号に〇を 付けてください。
		住所	tel	1・2・3・4・5
		住所	tel	1・2・3・4・5
		住所	tel	1・2・3・4・5
		住所	tel	1・2・3・4・5

※団体に所属している方は、団体名から記入してください。

市民活動支援課 20 - 2154（担当：須永・落合）

市民活動センター 44 - 7311（担当：鈴木・小手森）